

的については、生徒に広い視野を持たせ、多様な異文化の生活習慣・価値観などについて、「違い」を「違い」として認識していく態度や相互に共通している点を見つけていく態度、相互の歴史的伝統・多面的な価値観を尊重し合う態度を育成すること、いわば国際社会に貢献できる人物の育成としております。そして国際社会に貢献できる人物を育成することの重要な点として、メディア（テレビ、ラジオ、書籍、インターネット等）を通じた単なる学習ではなく直接外国の人々と交流したり、異文化に触れたりしながら自己理解から他人理解・人間理解へと直接体験を深めさせることが非常に大切であると考えております。そのようなことから本校では目的の具現化としてメイビルミドルスクールとの交流活動は、重要な役割を担っております。

さて、今回の交流活動では、生徒間のコミュニケーションの手段として英語を使い、その実用性に感嘆し、また通じたことで心の通い合いを確かめることができました。また生徒が多くなりました。またホームステイ先では、言葉の通じ合い以上に心の通い合いにメイビルの生徒は心を打たれたようです。家族の一員として温かく迎えていただいたホストファミリーのご家庭にはご苦労が絶えなかつたと察します。

そして最終日、駐車場では別れを惜しみ、双方の生徒達が肩を組み声高らかに歌っている姿に交流活動の成功を誰もが確信したと思えます。



「先生、メイビルに行きたいです。」

——光中の生徒

“I want to live in Japan!”

——メイビルミドル  
スクールの生徒

長い感想は必要ありませんでした。この一言で、目的のほとんどは達成されたでしょう。そして、光中学校とメイビルミドルスクールとの距離はまた一歩近づきました。

## ジュニアオリンピックで好成績

10月24日～26日に、横浜市国際競技場で第34回ジュニアオリンピック競技陸上大会が行われ、光中陸上部2年溝口理沙さんがCクラス（13歳以上14歳未満）の走幅跳で、5m26cmを跳び第6位に入賞しました。

## 海洋センター

### 利用者の声



平成6年にオープンした海洋センターは今年で10年を迎えました。また今年7月に料金の改正を行い、多くの方から利用しやすくなったとの声が聞かれます。

今回は、長年シルバー教室に通う3人の方にプールに通うようになってからの体調や心境の変化について話を伺いました。

#### 向後 清さん

膝を痛めて半年間プールをお休みしたところ、肩に石塊がたまり痛くなってしまいました。医者に勧められプールに通うようになってからすっかり肩の痛みがとれました。入水後は、体がスツキリし軽くなる感じがします。こうして「健康で水泳ができる」ことを幸せに感じています。

大きな風邪もひかず食欲も出てよく眠れます。不思議と夏は涼しく冬は暖かく感じます。水泳を通して健康な体づくりを目指していきたいです。

関 美喜子さん  
オープンして初めて慣れない水着を着て不安ながらプールに入りました。通うようになって40年来の肩こりが嘘のように治りました。



岡本 明美さん  
長年プールに通い、体調も良く、気持ちに張りを感じられるようになり、水泳の良さを痛感しています。料金が下がり多くの方が利用できるようになりうれしく思っています。教室中はいい雰囲気の中、楽しく4泳法を練習中です。週2回を目標にプールに行くことを楽しみにしています。

こうして教室に通う皆さんは、雨の日や風の強い日でも元気に自転車を通い、またお友達のおしゃべりも楽しいようで、はつらつとした「若さ」が感じられます。プールは泳ぐ所だと思われがちですが、最近ではリハビリなどで歩く方が増えています。当海洋センターはもっと多くの方に利用していただき、より一層皆さんの心と体の健康のお手伝いをしていきたいと思っています。

☆お気軽にご利用下さい。  
問合せ 海洋センター

☎ 3510